

小学校 総合的な学習の時間

目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

言語活動の充実

問題の解決や探究活動の過程において、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

課題を解決する視点を持ち、集めた情報を整理しながら、分析を行う。(整理・分析)

情報の分析から、自らの考えを導き出す。(まとめ・表現)

課題を解決する視点で、分析したことを話したり、確認したりする。(整理・分析)

分析したことを、文章に書き表したり、口頭で報告したりする。(まとめ・表現)

異なる視点からの意見交換を行い、互いの考えを深める。(整理・分析)

互いの発表を聞き合い、アドバイスし合って、学習の成果を改善する。(まとめ・表現)

単元における指導例【単元名】 ○○川と私たちの生活 第5学年

川の水質調査や地域の人や専門家の方から得た情報を整理し、設定した課題や目的に照らして分析する。

(例) 水生生物の分布の様子を地図上に整理したり、水質の変化をグラフ化したりする。

調査やインタビュー等で得た情報の分析から、設定した課題についての自らの考えをもつとともに、自分の生活や地域の自然について考える。

グループ等で、それぞれが得た様々な情報やそれを基に分析した内容や感じたことを伝えたり、話したりする。

分析したことを文章やレポートに書き表したり、目的に応じてプレゼンテーションやポスターセッション等、多様な形式を用いて口頭で報告したりする。また、探究を通して分かったことを、絵画や音楽演劇などで表現する。

例えば、「川の汚れと私たちの生活にはどんな関係があるか」という課題について、異なる視点からの意見交換を行い、その因果関係について協同して考えを深める。

互いに学習の成果を発表し、よい質問やアドバイスをし合いながら「地域の自然と自分たちの生活」について、互いの学習内容を共有したり、相互に関係付けたりする。

<目指す姿>

課題や目的に照らして情報を整理・分析し、自分の考えをもつとともに、自分の生活と結び付けて考える姿。

分析したことについて、伝える相手を意識するとともに、目的を明確にして説明したり、発表したりする姿。

異なる視点や考えを認め合いながら意見交換をしたり、互いの発表を通して理解を広げたりして、考えを深める姿。

中学校 総合的な学習の時間

目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

言語活動の充実

問題の解決や探究活動の過程において、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

課題を解決する視点を持ち、集めた情報を整理しながら、分析を行う。(整理・分析)

情報の分析から、自らの考えを導き出す。(まとめ・表現)

表現する

課題を解決する視点で、分析したことを話したり、確認したりする。(整理・分析)

分析したことを、論理的にレポートにまとめたり、発表したりする。(まとめ・表現)

交流し、再考する

互いの考えや意見を取り入れながら、情報を多面的・多角的な視点で分析し検討する。(整理・分析)

それぞれの発表を通し、意見交換を行い、自己の考えを深める。(まとめ・表現)

単元における指導例【単元名】働くことと自己の生き方を考える 第2学年

職場体験を通して感じたことやインタビュー等で得た情報を整理し、設定した課題や目的に照らして分析する。

(例)働く人の職業観等を比較・分類する。【KJ法・共通点や相違点の整理等】

職場体験等で得た情報の分析から、設定した課題についての自らの考えをもつとともに、学ぶ意味や自分の将来や生き方について考える。

グループ等で、それぞれが職場体験を通して手に入れた様々な情報やそれを基に分析した内容や思考の過程を話したり、確認したりする。

分析したことを論理的な文章やレポートに書き表したり、スピーチで説明したりする。また目的に応じてプレゼンテーションやポスターセッション等、多様な形式で報告したり、発表したりする。

例えば「働く人が大切にしていることは何か」に関する情報について異なる視点から分析したり、異なる考え方を出し合ったりするなど、協同して考えを深める。

それぞれの学習の成果を発表し合い、「働くこと」についての自分の考えと他の人の考えを比較したり、互いの学習内容を共有したり、相互に関係付けたりする。

<目指す姿>

課題や目的に照らして情報を整理・分析し、自分の考えをもつとともに、自己の生き方と結び付けて考える姿。

分析したことについて、伝える相手を意識するとともに、目的を明確にして論理的に説明したり、発表したりする姿。

異なる視点や考えを認め合い、情報を多面的・多角的に分析したり、互いの発表を通して理解を広げたりして、考えを深める姿。